

## 携帯電話機器及び携帯電話通信技術に関する特許侵害で ファーウェイがサムスンを提訴

本参考資料は2016年5月25日(現地時間)に中国 深セン市で発表されたプレスリリースの翻訳です  
[2016年5月25日、深セン市] 2016年5月25日、ファーウェイはサムスンに対し、アメリカ(カリフォルニア州北部地区連邦地方裁判所)と中国(深セン市中級人民法院)で特許侵害の訴状を提出しました。

携帯電話通信技術やサムスンの携帯電話に使用されたソフトウェアに関する特許など、ファーウェイの貴重な知的財産をサムスンが侵害したとして、ファーウェイは損害賠償を求める訴訟を起こしました。

携帯電話ネットワークに係る標準必須特許の主要な保有者であるファーウェイは、公正、合理的、かつ非差別的な条件でこれらの特許をライセンスすることを約束しています。しかし、ファーウェイの技術をライセンスなしで使用する企業へは、合理的な賠償金を求める資格があるとしています。ファーウェイ知的財産部門代表の丁建新(テイケンシン)は、「産業全体を前に推し進めるため、開かれた共同革新を通じて企業が協力し合うべきとファーウェイは考えています。他社の特許を尊重する一方、自社の特許もまた守っていきます。スマートフォン産業の健全な発展の礎として、合法的に技術を使用するための特許クロスライセンス契約が業界内で数多く締結されるのを見てきました。その信念の下、何年もの間我々はクロスライセンス契約を特許保有者と積極的に交渉してきました。その結果、数十の競合他社とクロスライセンス契約を結ぶに至りました」と述べました。テイはまた、「私たちは、サムスンがファーウェイの研究開発投資と特許を尊重し、特許侵害を中止し、ファーウェイから必要なライセンスを取得し、ファーウェイと共に業界を推し進めて行くことを願っています」と続けました。

ICTソリューションとスマートデバイスの主要なプロバイダー、そして特許保有者として、ファーウェイは研究開発に多額の投資をしています。ファーウェイは2015年だけでも、新技術、新製品、無線通信規格の研究開発に年間収益の15%である596億元(92億USドル)を投資しました。ファーウェイが保有する数多くの価値の高い特許は、長年に渡り研究開発に多額の投資を行った結果です。世界知的所有権機関(WIPO)が公表した統計によると、2015年ファーウェイは国際特許出願件数において昨年に続き1位となりました。公表されたPCT出願件数は、昨年より456件多い3,898件でした。2015年12月31日時点では、ファーウェイが取得した特許は世界中で50,377件にのぼります。これらの特許は、スマートフォンにとって非常に貴重なLTE、オペレーティングシステム、ユーザーインターフェイスに関連しています。

## <参考>

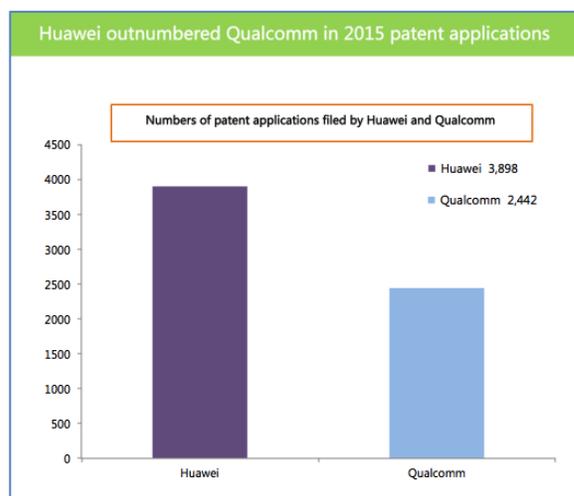
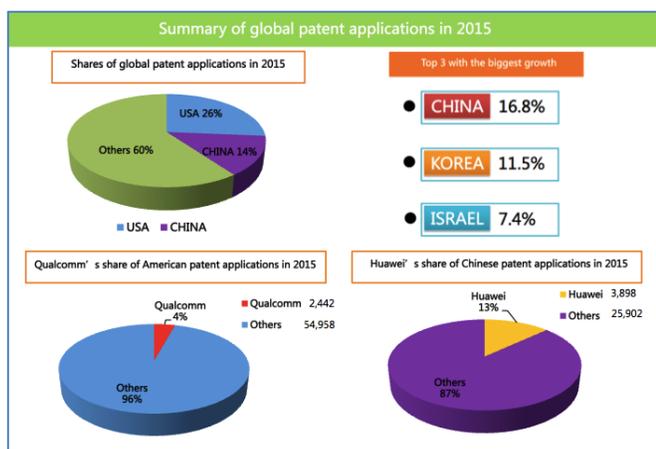
### ファーウェイ、2015 年特許出願ランキングで再び世界第 1 位

3 月 16 日発表の世界知的所有権機関 (WIPO) プレスリリースによると、WIPO に昨年提出された国際特許出願数は 218,000 件にのぼり、新記録を樹立しました。国別特許出願件数ではアメリカが引き続き最多でしたが、中国の急成長も見られました。企業別では、ファーウェイ・テクノロジーがグローバル企業の中で主位を守りました。

2015 年の出願件数は、アメリカが約 57,400 件、次いで日本と中国がそれぞれ約 44,200 件、約 29,800 件でした。

WIPO によると、昨年は中国、韓国、イスラエルの特許出願件数で著しい増加が見られ、増加率はそれぞれ 16.8%、11.5%、7.4%でした。

企業別では、ファーウェイが出願件数 3,898 件で昨年に引き続き 1 位でした。2 位はクアルコムで 2,442 件、3 位は中国の ZTE で 2,155 件でした。



3 月 5 日に開催された第 12 期全国人民代表大会 (NPC) 第 4 回会議の開幕式で、中国は知的財産の保護と適用を改善すべきであると、李克強 (リーコーチアン) 首相は「政府活動報告」の中で述べました。最近、通信業界大手のファーウェイはエリクソンと国際特許のクロスライセンス契約を更新しました。実際のところ、技術革新や知的財産の保護がスマートフォン産業の更なる発展に不可欠であり、また特許はスマートフォンメーカーの更なる開発において非常に重要な役割を果たし、多国籍企業が技術革新を先導し、また成長を達成するための基礎であると、通信技術企業各社は考えています。グローバル展開で上昇気流に乗っているファーウェイは、この点を非常に重量であると考えています。

## 特許の世界におけるファーウェイの成果は？

このスマートフォン時代に急速な成長を遂げている新興技術企業であるファーウェイは、特に特許の面で非常に良い成果を上げています。ファーウェイは中国国内だけでなく、海外でも多数の特許を取得しました。それは携帯電話産業で「大手」の仲間入りを果たし、西洋の競合企業と肩を並べるためです。

2015年、欧州特許庁(EPO)の年次報告によると、498件の特許取得でファーウェイはヨーロッパ9位。この記録であれば上位10位から外れることはありません。2015年欧州特許出願ランキングでは、ファーウェイは特許出願件数が1,953件で4位、差別化技術に関するデジタル通信部門では1,197件で1位でした。国際特許出願件数はこの1年で1,300件の増加を示しており、ファーウェイは現在着実に成長をしています。

ご承知のようにファーウェイは数多くの特許を保有しており、新たな特許の取得も迅速に行っています。同時に、ファーウェイはアップル及びエリクソンと特許のクロスライセンス契約も締結しました。グローバル通信技術産業のトップ企業の一員として、ファーウェイは自社の知的財産保護の構築のみならず、特許分野の秩序を維持するため大手企業と協力し監視にあたっています。

## ファーウェイが保有する高品質の特許は前進するための駆動力

特許を取得しなければ利益は保護されないように、特許出願だけでは申請者に何の利益ももたらしません。実際、国際特許訴訟の場合、海外で取得した特許のみが法的根拠とみなされます。

過去数十年間、ファーウェイはかなりの数の海外特許を蓄積してきました。2015年までに、ファーウェイ・コンシューマー・ビジネス・グループは9,000件以上の国際特許を出願してきました。その中には中国国内で取得した2,000件以上の特許と、ヨーロッパ、アメリカ、その他の地域などの海外で取得した1,100件の特許が含まれています。

国際競争において極めて重要な武器とみなされる特許による相当な利益を、ファーウェイはしっかりと享受しています。これから10年または20年、この基礎となる利益でファーウェイは前進し、安定的且つ効率的な成長を維持し、国際競争における優位性を揺るぎないものにするために、技術革新や製品開発に邁進できるでしょう。